

教育センターだより

香川県教育センター研究発表会を開催します！

平成28年2月19日(金) 12:30~16:25 (受付 12:00~12:30*)

※ 当日12時から、教育センターの館内を自由にご覧いただけます。

会場：香川県教育センター（高松市郷東町587-1）

詳しい日程や申し込み方法等は案内状をご覧ください。

12:30 12:45	12:50 14:40	14:50 16:20	16:20 16:25
開会式	研究発表	講演	閉会式

研究発表1 「全国学力・学習状況調査及び香川県
学習状況調査の結果分析」

研究発表2 「学校におけるタブレットPCの活用
に関する調査研究」

○指導助言 香川大学教育学部附属教職支援開発センター
准教授 松下 幸司 氏

研究発表3 「アクティブ・ラーニングによる授業
の質的転換に関する調査研究」

発表3-1 小学校
発表3-2 中学校
発表3-3 高等学校

講演

<演題>

「学習指導要領改訂の方向性
-アクティブ・ラーニングの
実現に向けて-」

文部科学省初等中等教育局
視学官 田村 学 氏

講演

文部科学省初等中等教育局視学官 田村 学 氏

演 題 「学習指導要領改訂の方向性 -アクティブ・ラーニングの実現に向けて-」

今回の学習指導要領改訂においては、「アクティブ・ラーニング」などの具体的な学習・指導法についても検討されています。現行の学習指導要領の構造自体を転換する、抜本的な改訂についてお話ししていただく中で、高等学校教育、大学教育及びそれらを接続する大学入学者選抜の一体的改革についても触れていただく予定です。

【プロフィール】

上越市立大手町小学校、上越教育大学附属小学校で生活科・総合的な学習の時間を実践、カリキュラム研究に取り組む。平成17年4月から、生活科・総合的な学習の時間担当の調査官。平成27年から文部科学省初等中等教育局視学官（併）文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官（併）国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官を務める。日本生活科・総合的学習教育学会常任理事。

【主な著書等】

「いのちを育てる総合学習」（童心社）、「今日の学力をつくる新しい生活科授業づくり」（明治図書）、「これからの生活・総合」（東洋館）、「幼稚園・保育所と小学校の連携ポイント」（ぎょうせい）、「総合の新しい授業アイデア」（ぎょうせい）、「イラストで見る全単元・全時間の授業のすべて」（東洋館）、「思考ツールの授業」（小学館）、「新教科誕生の軌跡」（東洋館）、「授業を磨く」（東洋館）、「生活・総合アクティブ・ラーニング」（東洋館）など。

【研究発表①】 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

平成 27 年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙調査結果では、「学習状況」について改善傾向にありましたが、「自尊意識等」「学習意欲」「言語活動」に課題が見られました。そこで、11 月に行われた香川県学習状況調査の結果分析も踏まえ、そこからうかがえる本県の児童生徒や学校、教職員にとっての課題と今後の改善の方向性について報告します。



【研究発表②】 学校におけるタブレット PC の活用に関する調査研究

現在、各市町教育委員会を中心に、タブレット PC を含む ICT 機器の整備が進んでいますが、国の調査により、学校における教育の情報化に関する本県の成果やこれから取り組むべきことも見えてきてきました。そこで、課題とされる内容を改善するための具体策を提案します。また、ICT の効果的な活用をハンドブックとしてまとめた冊子を作成し、各学校に配布します。

【発表内容】

- ・国及び本県の調査から見える現状と課題
- ・ICT 機器の選定や管理に関する環境整備
- ・ICT 機器を活用した授業実践への研修と準備
- ・ICT 機器を活用した授業実践例

「平成 26 年度 学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

教育用コンピュータ 1 台当たりの児童生徒数		電子黒板のある学校の割合		児童・生徒の ICT 活用を指導する能力	
1 位	佐賀 2.6 人	1 位	佐賀 99.0%	1 位	岡山 87.2%
2 位	鹿児島 4.4 人	2 位	和歌山 91.6%	2 位	佐賀 85.0%
3 位	鳥取 4.5 人	3 位	大阪 91.5%	3 位	愛媛 81.2%
37 位	香川 6.7 人	29 位	香川 76.0%	30 位	香川 63.2%
	平均 6.4 人		平均 78.0%		平均 65.2%

対象：全国の公立学校（小、中、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）
（文部科学省 平成 27 年 10 月）

環境の整備は？



充実した教育実践のための整備のあり方を考えます。

実践の前に？



機器を活用するためのルールや、教員の研修のあり方を考えます。

指導の方法は？



学習場面や学習形態、使用場所などから授業での活用方法について考えます。

【研究発表③】 アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換に関する調査研究

「学習意欲を高めたい!」「自己肯定感を育みたい!」と願う教師は多いのではないのでしょうか。文部科学省は、児童生徒の実態と育みたい資質・能力を踏まえ、平成 26 年 11 月の中教審諮問において、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学習（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）の充実を示しました。これを受け、全国的にも児童生徒主体の授業についての研究が進められています。

そこで、香川県教育センターでは、県内小・中・高等学校の具体的な取組を踏まえ、アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換について提案します。

【発表内容】

- ・アクティブ・ラーニングの基本的な考え方
- ・小・中・高等学校における具体的な実践
- ・児童生徒主体の授業改善の方向性

【アクティブ・ラーニング研究推進モデル校】

- ・高松市立牟礼小学校
- ・坂出市立坂出小学校
- ・高松市立協和中学校
- ・観音寺市立観音寺中学校



アクティブ・ラーニングの視点からの改善の方向性

- **深い学び**の過程の実現
問題発見・解決を充実させた授業づくり
- **対話的な学び**の過程の実現
協働的な学びの過程を保障した授業づくり
- **主体的な学び**の過程の実現
児童生徒の学びに向かう力を高める授業づくり

教師に求められる視点

学級経営の視点：「学びに向かう集団づくり」
支持的風土のある学習の場をつくることで、自己の存在感をもち、共感的な人間関係を育む

アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ



Series 3 アクティブ・ラーニング(以下:AL)には特定の型があるの?

N先生: ALを取り入れた授業をやってみただけけれど、何かいい方法がないかな?

A先生: そうだね。文部科学省では、ALの指導例としていくつか挙げているけれど、特定の型を普及させようとしているのではないんだ。

N先生: じゃあ、どんな指導をすればいいの?

A先生: **ALの型はたくさんあり、児童生徒の実態や教材等にあった指導方法を選ぶことが大切!** 例えば、言語活動を取り入れたり、ペアやグループで問題に取り組んだりする学習だよ。

N先生: それなら、もう私の高校ではしているよ。総合的な学習の時間に、生徒自身が課題を設定してプロジェクトを推進し、プレゼンテーションをしているよ。

A先生: そうそう、そういう活動を各教科で充実させていくことだよ。実は、今回の改訂で重視されているのは、**学びの質の充実**なんだ。

N先生: 学びの質を充実させるって、どういうこと?

A先生: どの教科でも受け身の講義形式ばかりでなく**児童生徒が能動的に学習する活動を効果的に取り入れることだよ。** 今実践している活動をもう一度見つめ直していきたいね。

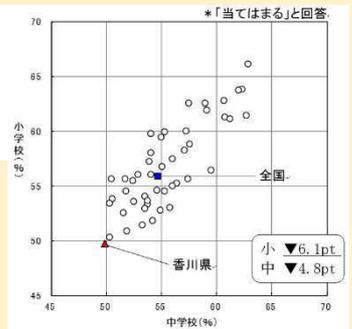
A先生: 実はね、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙で、香川県は「言語活動の機会はあった」と回答している割合は全国平均とほぼ同じだけれど、学習意欲や発表への自信、意見を最後まで聞くことについては、全国平均を下回っているんだ。(下の散布図を参照)

N先生: なるほど。これまでもALの型を取り入れた授業をしてきたけれど、児童生徒の学習意欲は十分とはいえないんだね。

A先生: そうなんだ。だからこそ、目の前の児童生徒の視点に立ち、**N先生の学校だからこそできるALによる授業**がどのような学習かを学校全体で考えていくといいね。

【児童生徒質問紙】

「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」



※平成27年度全国学力・学習状況調査報告書より

学校支援アドバイザーを派遣します!

学校支援アドバイザーは、家庭内の問題など学校だけでは対応が難しい課題の改善に向けて学校を支援する福祉分野の専門家です。

【こんなケースに】

- 非行など警察との連携が必要な問題行動
- 虐待の疑い
- 経済的要因や保護者の病気等による養育問題

【こんなことができます】

- 教職員やSSWの研修、助言、情報提供
- 関係機関とのネットワーク構築、連携・調整
- ケース会等への参加、助言

※ 派遣をご希望の方は、教育センター教育相談課へご連絡ください。

学校支援アドバイザーの紹介

村上 昭史アドバイザー
臨床心理士。

県の相談機関で、心理職として不登校や非行そして発達あるいは障害の相談と判定に30数年間携わりました。

子どもの立場・保護者の気持ちに沿ったサポートを提案します。



藤澤 茜アドバイザー
社会福祉士。精神保健福祉士。香川SSW協会会長。

現任SSWです。子どもの生活全体を視野に入れた支援を、本人や学校、家庭、関係機関とともに検討しています。



教育相談や生徒指導に関する研修をお手伝いします!

校内研修会やケース会議等に対し、講師の派遣や資料の提供を行います。

【これまでの研修サポート内容】

- 教育相談の体制づくり
- 人間関係づくり(ピア・サポート等)
- 発達障害の理解と具体的ななかかわり
- いじめを考える ～子どもの声をもとに～
- 体罰やセクシュアル・ハラスメント防止について
- 通常学級における特別支援教育
- 不登校児童生徒と保護者の支援
- 授業のユニバーサルデザイン

内容や進め方については、
ご相談ください。



教育相談課
087-813-0945

新しい施設を紹介します

教育センターでは、移転を機に研修受講者用の駐車場やエレベーター、交流スペースなどを備え、以前より使いやすくなったという声が多く寄せられています。自主研修や調査研究の場としてもご利用ください。

南駐車場（研修受講者用駐車場）



駐車場の入口は、建物のすぐ南です。



教育センター駐車場入口

教育センターの建物の南側には、教育センター研修受講者用駐車場に隣接して、香川県総合健診協会の駐車場もあります。研修で来所されたときは、ご注意ください。

研修の講師として来所される場合は、来客用駐車場をご利用ください。

交流スペース



コミュニティプラザ（5階）



談話コーナー（3階）

受付前や昼食・休憩時に、情報交換の場として活用されています。

所蔵資料等を紹介します

まほらま幻像

所長室に掛けられている絵画の1枚は、長く県立高校教員を勤められ、現在も精力的に制作活動を続けておられる津田浩二先生の作品です。今回津田先生のご厚意で今年度日展に入選された「まほらま幻像」をお借りすることになりました。

先生は弥生時代から古墳時代にかけての倭人文化を作品制作のテーマとして追求してこられました。農業の発達による富の蓄積が、やがて支配する人とされる人を生じさせ、権力者の死によって壮大な墓が造られます。この時代には、銅鐸や銅

剣などの青銅製祭器、土器、埴輪などの優れた造形品が出現し、倭人文化の原形が形成された時代です。銅鐸、埴輪、冠、土器のイメージをもとに、銅釧や銅器、銅剣の文様をアレンジして、全体として古代を現代に具現化した作品です。

ご希望の方は、ご覧になれます。



「まほらま幻像」 津田浩二

教育ライブラリーを利用しませんか

1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29					
31													

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

開室スケジュール
平日 9:00~17:00
土曜日 9:00~16:00
■は休室日

県視聴覚ライブラリー、県高等学校視聴覚ライブラリーの貸出を行っています。

平成27年5月まで、生涯学習・文化財課で行っておりました2つの視聴覚ライブラリーの貸出を行っております。

教育センターWebサイトの「カリキュラムセンター」から「視聴覚ライブラリー」を選べと、「利用について」、「利用申請書」、「貸出リスト一覧」がダウンロードできます。申し込みは、直接お越しいただくほか、電子メール、FAXでも申し込みができます。ぜひ、ご利用ください。

